



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅
 問合せ先責任者 (役職) 管理本部人総部長 兼 広報室長 (氏名) 森雅彦 (TEL) 06(6338)8331
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績 (2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	2,148	3.2	△396	—	△102	—	△134	—
2021年2月期第1四半期	2,082	△38.8	△550	—	△536	—	△402	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	△43.78	—
2021年2月期第1四半期	△131.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	7,470	2,234	29.9
2021年2月期	6,928	2,367	34.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 2,234百万円 2021年2月期 2,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,671	26.3	42	—	55	—	16	—	5.48
通期	11,245	21.9	△6	—	20	—	△226	—	△73.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	3,660,400株	2021年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	597,779株	2021年2月期	598,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	3,061,974株	2021年2月期1Q	3,061,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、経済活動が抑制され個人消費は大きく落ち込みました。国内の感染拡大への懸念が再び強まり、緊急事態宣言の発出による不要不急の外出自粛等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、在宅勤務の浸透やインバウンド需要の消失で外食需要が低迷しており、店舗においてはソーシャルディスタンス（社会的距離）による客席数の減少や、営業時間の短縮を余儀なくされるなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社は、前事業年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため社内ルールの周知徹底に努めながら従業員の労働時間の短縮、役員報酬の減額、雇用調整助成金の活用、設備投資抑制による資産の圧縮、人件費や家賃等の販管費の圧縮、金融機関からの資金の調達など事業活動継続のための施策を実施しております。店舗では混雑回避や飛沫防止対策の実施、従業員の健康管理とお客様の安心・安全の確保に努めております。また、全業態で宅配サービスを導入し、宅配ポータルサイト「出前館」及び「Uber Eats」との連携により新たな売上の獲得に注力し、各種惣菜や手作り弁当のテイクアウトも行っております。

当第1四半期会計期間末日の店舗数につきましては、催事店舗である寿司一番地業態が3店舗増加した結果、期末店舗数は120店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は2,148,190千円（前年同四半期比3.15%増）、営業損失は396,462千円（前年同四半期は営業損失550,903千円）、経常損失は102,645千円（前年同四半期は経常損失536,130千円）、四半期純損失は134,064千円（前年同四半期は四半期純損失402,773千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加等により5,032,919千円（前事業年度末は4,509,723千円）となりました。主な要因は、金融機関からの借入金の増加によるものであります。有形固定資産は、セントラルキッチン等の設備投資が増加したことで857,564千円（前事業年度末は834,798千円）、投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により1,500,945千円（前事業年度末は1,499,526千円）となり、資産の部合計は、7,470,184千円（前事業年度末は6,928,932千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加等により1,960,347千円（前事業年度末は1,894,263千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により3,275,604千円（前事業年度末は2,666,914千円）となり、負債の部合計は5,235,951千円（前事業年度末は4,561,177千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、四半期純損失の計上等により2,234,233千円（前事業年度末は2,367,755千円）となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は29.9%（前事業年度末は34.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期においても収益力の向上を計画しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内の外出自粛による消費マインドの低下や営業時間短縮など、現時点において売上高及び来店客数等の業績に影響が出ております。国内外の感染拡大による消費活動の停滞がいつまで続くのか見通すことが難しく、業績への影響規模についても予想することは困難ですが、当事業年度の店舗展開につきましては、テイクアウト専門店「寿司一番地」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより新規出店5店舗で次期店舗数は122店舗を予定しております。

当事業年度の業績予想としましては、売上高は11,245,210千円（前年同期比21.9%増）、営業損失は6,863千円（前年同期は営業損失1,215,793千円）、経常利益は20,865千円（前年同期は経常損失1,166,698千円）、当期純損失は226,225千円（前年同期は当期純損失1,693,489千円）を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,019,490	4,667,975
売掛金	42,347	59,536
商品	194	196
原材料及び貯蔵品	51,893	53,183
その他	395,797	252,026
流動資産合計	4,509,723	5,032,919
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	733,953	769,365
その他	100,844	88,198
有形固定資産合計	834,798	857,564
無形固定資産	84,884	78,755
投資その他の資産		
差入保証金	815,687	806,733
繰延税金資産	388,357	399,071
その他	295,991	295,651
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,499,526	1,500,945
固定資産合計	2,419,209	2,437,265
資産合計	6,928,932	7,470,184
負債の部		
流動負債		
買掛金	468,305	242,462
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	568,582	741,546
未払法人税等	19,388	9,509
その他	837,987	766,829
流動負債合計	1,894,263	1,960,347
固定負債		
長期借入金	1,881,373	2,441,010
長期預り保証金	45,555	45,555
退職給付引当金	571,083	578,573
役員退職慰労引当金	30,518	30,909
その他	138,383	179,555
固定負債合計	2,666,914	3,275,604
負債合計	4,561,177	5,235,951

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,276,053	2,422,048
利益剰余金	△854,004	△134,064
自己株式	△154,293	△153,751
株主資本合計	2,367,755	2,234,233
純資産合計	2,367,755	2,234,233
負債純資産合計	6,928,932	7,470,184

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	2,082,467	2,148,190
売上原価	689,922	715,765
売上総利益	1,392,544	1,432,424
販売費及び一般管理費	1,943,448	1,828,887
営業損失(△)	△550,903	△396,462
営業外収益		
受取利息	399	266
受取家賃	23,863	23,693
助成金収入	—	292,560
その他	15,764	6,469
営業外収益合計	40,027	322,989
営業外費用		
支払利息	935	3,587
賃貸収入原価	21,887	22,589
その他	2,430	2,994
営業外費用合計	25,254	29,172
経常損失(△)	△536,130	△102,645
特別利益		
受取補償金	2,000	—
助成金収入	45,181	20,695
特別利益合計	47,181	20,695
特別損失		
有形固定資産除却損	14,322	4,452
減損損失	—	16,137
店舗閉鎖損失	6,983	10,350
店舗臨時休業等による損失	52,374	22,377
その他	1,750	—
特別損失合計	75,430	53,317
税引前四半期純損失(△)	△564,379	△135,268
法人税等	△161,606	△1,203
四半期純損失(△)	△402,773	△134,064

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月27日開催の第35回定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を854,004千円減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、これによる株主資本の合計額への影響はありません。